

第9回 日本歯科衛生教育学会総会・学術大会開催のご案内

大会長 江川 広子
実行委員長 平澤 明美
準備委員長 本間 和代

来る平成30年12月1日(土)・2日(日)の2日間、朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)において第9回日本歯科衛生教育学会総会・学術大会を開催いたします。

今回のメインテーマは、「歯科衛生士教育の質の保証を目指して一トキめいて羽ばたけ、未来の歯科衛生士―」としました。現在、コア・カリキュラムが提示されていますが、教育環境の異なる養成機関にあって、一定水準の質を保証するところまで活用されているかは疑問です。歯科衛生士に求められる役割は年々、多様化、高度化している現在、われわれは、教員指導者の資質の向上を図り、歯科衛生士教育の質を一層高めて、有能な歯科衛生士を社会に輩出する責務があると考えます。

本大会の特別講演は「暮らしと人権」と題して、多様な学生を抱え、指導の難しさがある昨今、教員による学生へのキャンパスハラスメント等を未然に防止するための教員のあるべき姿を、臨床心理士の専門家の立場からご講演をいただきます。

教育講演Ⅰは「う蝕学教育は歯冠う蝕から根面う蝕へ」のテーマで臨床講演をお願いいたしました。また、教育講演Ⅱは「歯科衛生士教育のための食育」と題して、ライフステージに合わせたポイントについての具体的な内容を、管理栄養士の先生にご講演をいただきます。

さらに、シンポジウムはメインテーマと連動して、多様化する歯科衛生士教育の将来像について、主に臨地実習の在り方に焦点をあて、教育の質保証に繋がりたいと思います。シンポジストには養成機関における臨地実習の取り組みを発表していただき、会場の皆様とディスカッションしていきたいと考えています。

豊かな新潟県の「食文化」に触れながら、コメ、酒、水産物、米菓…など、新潟の食を堪能していただき、多くの皆様と情報交換しながら楽しい場になるよう、おもてなしをさせていただきたいと思っております。会員の皆様にはおなじみの朱鷺メッセかと思いますが、今回、初めてイベント会場を利用しての開催となります。より多くの皆様のご参加とご発表を心よりお待ちしております。

1. 会 期：平成30年12月1日(土)、2日(日)
2. 大会テーマ：「歯科衛生士教育の質の保証を目指して一トキめいて羽ばたけ、未来の歯科衛生士―」
3. 会 場：朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)
〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島6-1
TEL：025-246-8400 FAX：025-246-8411
4. プログラム：12月1日(土)

(1) 教育講演Ⅰ 「う蝕学教育は歯冠う蝕から根面う蝕へ」

講師 福島 正義先生

(前 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔保健学分野 教授)

(現 福島県昭和村国民健康保険診療所 歯科長)

教育講演Ⅱ 「歯科衛生士教育のための食育」

講師 川村 美和子先生

(公益社団法人新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション)

※教育講演Ⅰ・Ⅱは全衛協の講習会Ⅵとして読み替えます。講習会Ⅵのお申込みにつきましては9月以降全衛協のホームページをご覧ください。

- (2) シンポジウム 「多様化する歯科衛生士教育の将来像—臨地実習の在り方—」
シンポジウムの詳細は日本歯科衛生教育学会誌第9巻第2号でお知らせいたします。

12月2日(日)

- (3) 特別講演「暮らしと人権」
講師 柳 義子先生
(公益社団法人やどかりの里 理事 臨床心理士)
(人材養成事業 やどかり塾 顧問)
- (4) 会員発表：口演発表、ポスター発表
- (5) ランチョンセミナー：ご案内は日本歯科衛生教育学会誌第9巻第2号でお知らせいたします。
- (6) 懇親会：12月1日(土)
朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)2階

5. 会議等：下記会議を行う予定です。

11月30日(金)

15:00～17:00 常任理事会・理事会合同開催(予定)

17:00～18:00 評議員会

6. 一般演題募集(口演・ポスター発表)：

- (1) 応募締切：平成30年7月23日(月)17:00 ※締切厳守でお願いします。
- (2) 発表形式：ご希望を尊重しますが、添えないことがあります。発表形式、日時ならびにプログラム編成は学会にご一任ください。なお、ポスター発表は、ポスター討論形式で座長を設けず、発表者自らが質疑を受けていただく方式とします。
- (3) 演題採否通知：演題の採否は学会にご一任ください。
演題の採否、発表形式、発表日時につきましては、発表者にメールまたは郵送にて通知します。

7. 宿泊：宿泊については各自でご準備をお願いします。